



tnc
〒502-0842
岐阜市早田1901-6 オバナビル1F
Tel.050-3701-3987 https://www.tnctnc.com/

ビジネスインター
ヒットの北
Made in Gifu

大切な想い出の 瞬間と、一緒に

tnc デザイナー



岐阜市長良、岐阜メモリアルセンター南のビルの一角に「ブリザーブドフラワー」や造花で作るオーダーメイドアクセサリーの店「tnc」があります。大手百貨店から声がかかり、たった一人で製作から販売まで全てを切り盛りしながら全国の催事場を飛び回ります。全力で走り出した、今注目の「デザイナー 中垣朋子さんにお話を伺いました。

中垣朋子さん。38歳。

長年企業で英語とフラワーアレンジメントに関わり、近年は輸入企画や海外の買付などの業務に就き、お客様の求めるものや市場のニーズに応える企画など、やり甲斐に溢れた順調な日々を過ごしていました。

そんななか、ある時企画会議に出した案件に対して上司から「ちゃんとお客様の手から現金を受け取った経験がないから、そんな安易な企画ができるんだ」と、指摘されました。確かにその通り…。

以来、その言葉がずっと心に引っかかるようになります。

「いつたい今、自分の実力はどのくらいあるのか…。上司の言葉とともに、そんなことを悩む中、「お客様の反応を直に聞きたい」と、フラワーアレンジの髪飾りをつけてきました。

「…走りてきてよかつた」

—ブランドが認められつつある。

今までの努力が報われた瞬間でした。

それでも常に「お客様に喜んでもらえる」ものを作りたいとの想いを強く持ち、要望に合わせた彩の提案を、一つ一つ丁寧に続けてきました。

すると、ある時大手ブランドから「買い取りで」とのオファーが舞い込んできたのです。

「…走りてきてよかつた」

「お客様と直に接して反応をそのまま感じられるのは魅力的でしたが、どんな遠方でも旅費や宿泊費も持ち出しだけ…」

それでも常に「お客様に喜んでもらえる」ものを作りたいとの想いを強く持ち、要望に合わせた彩の提案を、一つ一つ丁寧に続けてきました。

すると、ある時大手ブランドから「買い取りで」とのオファーが舞い込んできたのです。

「…走りてきてよかつた」

い出そのものもあります。

昔、「直」にお客様と触れたことがない頃に立てた企画は、空想の枠を超えてませんでした。

今、それが現実となり、作り手、企画、営業、そして販売まですべてを「直」に請け負います。それは面白くもあり、それ以上に責任、プレッシャーであります。

中垣さんはウエディングブーケを手掛ける際、お客様の好みをとことん追求します。それは普段の好みのファッショニスタ風から、よく読む雑誌、ウェブサイトなどをヒアリング。実際にイメージ写真を見られた時の表情や言葉を読み取り、そのお客様の引き出しを開けるような作業。ドレスや式場の飾りつけまでも考慮し、何度もお客様とじっくり話して形にしていきます。

お客様の大切な思い出の瞬間の お手伝いがしたい！。

「オーダーメイド」の可能性は広がるばかりです。

次なる挑戦は「本美濃紙」を使ったアクセサリー。「子どもの頃に祖母に教わった技法を使っています」

レトロモダンな和紙の風合いは、中垣さんの大切な思

作り、販売を始めました。「気軽に買える単価で作れば、たくさんのお客様の声が聞けるのでは」と考え、手ごろな価格ではじめます。

すると、売れ行きは上々。センスのよさが口コミで広がり人気商品となりました。

そんな中垣さんに、当時の上司からこんなアドバイスがありました。

「この商品に『ブランド』としての価値をつければ、安売りではなく適正価格で勝負できる」

その言葉に背中を押され、ある大きな展示会に「オリジナルブランド」としての作品を応募することに。すると厳しい選考のなか、見事新人の登竜門のようなコーナーに出演できることになりました。そして、なんといきなり大手百貨店4社との取引が決まりました。

—「ブランド」を作る。

走り始めて1年半が過ぎました。百貨店では委託販売のため、催事では自ら店頭に立ちます。そこにはメリットもデメリットもある現実を痛感しました。

「現実」という壁を乗り越える

そこには「作つたものがただの自己満足では、お客様に喜んではもらえない。常に、広い視野で商品を見続けていきたい」という搖るぎない想いがあります。

店名「tnc（ティンク）」は、「TICK AND CO M FORT」。

チクタクと時を刻む音と、癒し。

大切な時間を

優しい気持ちで過ごせますようにー。

中垣さんが手掛けるアクセサリーやブーケには、そんな魔法があるのかもしません。

岐阜市長良、岐阜メモリアルセンター南のビルの一角に「ブリザーブドフラワー」や造花で作るオーダーメイドアクセサリーの店「tnc」があります。大手百貨店から声がかかり、たった一人で製作から販売まで全てを切り盛りしながら全国の催事場を飛び回ります。全力で走り出した、今注目の「デザイナー 中垣朋子さんにお話を伺いました。

中垣朋子さん。38歳。

長年企業で英語とフラワーアレンジメントに関わり、

近年は輸入企画や海外の買付などの業務に就き、お客様の求めるものや市場のニーズに応える企画など、やり甲斐に溢れた順調な日々を過ごしていました。

そんななか、ある時企画会議に出した案件に対して上

司から「ちゃんとお客様の手から現金を受け取った経験がないから、そんな安易な企画ができるんだ」と、指摘されました。

確かにその通り…。

以来、その言葉がずっと心に引っかかるようになります。

「いつたい今、自分の実力はどのくらいあるのか…。上司の言葉とともに、そんなことを悩む中、「お客様の反応を直に聞きたい」と、フラワーアレンジの髪飾りをつけてきました。

すると、ある時大手ブランドから「買い取りで」とのオファーが舞い込んできたのです。

「…走りてきてよかつた」

「お客様と直に接して反応をそのまま感じられるのは魅力的でしたが、どんな遠方でも旅費や宿泊費も持ち出しだけ…」

それでも常に「お客様に喜んでもらえる」ものを作りたいとの想いを強く持ち、要望に合わせた彩の提案を、一つ一つ丁寧に続けてきました。

すると、ある時大手ブランドから「買い取りで」とのオファーが舞い込んできたのです。

「…走りてきてよかつた」

い出そのものもあります。

昔、「直」にお客様と触れたことがない頃に立てた企画は、空想の枠を超えてませんでした。

今、それが現実となり、作り手、企画、営業、そして販売まですべてを「直」に請け負います。それは面白くもあり、それ以上に責任、プレッシャーであります。

中垣さんはウエディングブーケを手掛ける際、お客様の好みをとことん追求します。それは普段の好みのファッショニスタ風から、よく読む雑誌、ウェブサイトなどをヒアリング。実際にイメージ写真を見られた時の表情や言葉を読み取り、そのお客様の引き出しを開けるような作業。ドレスや式場の飾りつけまでも考慮し、何度もお客様とじっくり話して形にしていきます。

店名「tnc（ティンク）」は、「TICK AND CO M FORT」。

チクタクと時を刻む音と、癒し。

大切な時間を

優しい気持ちで過ごせますようにー。

中垣さんが手掛けるアクセサリーやブーケには、そんな魔法があるのかもしません。

岐阜市長良、岐阜メモリアルセンター南のビルの一角に「ブリザーブドフラワー」や造花で作るオーダーメイドアクセサリーの店「tnc」があります。大手百貨店から声がかかり、たった一人で製作から販売まで全てを切り盛りしながら全国の催事場を飛び回ります。全力で走り出した、今注目の「デザイナー 中垣朋子さんにお話を伺いました。

中垣朋子さん。38歳。

長年企業で英語とフラワーアレンジメントに関わり、

近年は輸入企画や海外の買付などの業務に就き、お客様の求めるものや市場のニーズに応える企画など、やり甲斐に溢れた順調な日々を過ごしていました。

そんななか、ある時企画会議に出した案件に対して上

司から「ちゃんとお客様の手から現金を受け取った経験がないから、そんな安易な企画ができるんだ」と、指摘されました。

確かにその通り…。

以来、その言葉がずっと心に引っかかるようになります。

「いつたい今、自分の実力はどのくらいあるのか…。上司の言葉とともに、そんなことを悩む中、「お客様の反応を直に聞きたい」と、フラワーアレンジの髪飾りをつけてきました。

すると、ある時大手ブランドから「買い取りで」とのオファーが舞い込んできたのです。

「…走りてきてよかつた」

「お客様と直に接して反応をそのまま感じられるのは魅力的でしたが、どんな遠方でも旅費や宿泊費も持ち出しだけ…」

それでも常に「お客様に喜んでもらえる」ものを作りたいとの想いを強く持ち、要望に合わせた彩の提案を、一つ一つ丁寧に続けてきました。

すると、ある時大手ブランドから「買い取りで」とのオファーが舞い込んできたのです。

「…走りてきてよかつた」

い出そのものもあります。

昔、「直」にお客様と触れたことがない頃に立てた企画は、空想の枠を超えてませんでした。

今、それが現実となり、作り手、企画、営業、そして販売まですべてを「直」に請け負います。それは面白くもあり、それ以上に責任、プレッシャーであります。

中垣さんはウエディングブーケを手掛ける際、お客様の好みをとことん追求します。それは普段の好みのファッショニスタ風から、よく読む雑誌、ウェブサイトなどをヒアリング。実際にイメージ写真を見られた時の表情や言葉を読み取り、そのお客様の引き出しを開けるような作業。ドレスや式場の飾りつけまでも考慮し、何度もお客様とじっくり話して形にしていきます。

店名「tnc（ティンク）」は、「TICK AND CO M FORT」。

チクタクと時を刻む音と、癒し。

大切な時間を

優しい気持ちで過ごせますようにー。

中垣さんが手掛けるアクセサリーやブーケには、そんな魔法があるのかもしません。

岐阜市長良、岐阜メモリアルセンター南のビルの一角に「ブリザーブドフラワー」や造花で作るオーダーメイドアクセサリーの店「tnc」があります。大手百貨店から声がかかり、たった一人で製作から販売まで全てを切り盛りしながら全国の催事場を飛び回ります。全力で走り出した、今注目の「デザイナー 中垣朋子さんにお話を伺いました。

中垣朋子さん。38歳。

長年企業で英語とフラワーアレンジメントに関わり、

近年は輸入企画や海外の買付などの業務に就き、お客様の求めるものや市場のニーズに応える企画など、やり甲斐に溢れた順調な日々を過ごしていました。

そんななか、ある時企画会議に出した案件に対して上

司から「ちゃんとお客様の手から現金を受け取った経験がないから、そんな安易な企画ができるんだ」と、指摘されました。

確かにその通り…。

以来、その言葉がずっと心に引っかかるようになります。

「いつたい今、自分の実力はどのくらいあるのか…。上司の言葉とともに、そんなことを悩む中、「お客様の反応を直に聞きたい」と、フラワーアレンジの髪飾りをつけてきました。

すると、ある時大手ブランドから「買い取りで」とのオファーが舞い込んできたのです。

「…走りてきてよかつた」

「お客様と直に接して反応をそのまま感じられるのは魅力的でしたが、どんな遠方でも旅費や宿泊費も持ち出しだけ…」

それでも常に「お客様に喜んでもらえる」ものを作りたいとの想いを強く持ち、要望に合わせた彩の提案を、一つ一つ丁寧に続けてきました。

すると、ある時大手ブランドから「買い取りで」とのオファーが舞い込んできたのです。

「…走りてきてよかつた」

い出そのものもあります。

昔、「直」にお客様と触れたことがない頃に立てた企画は、空想の枠を超えてませんでした。

今、それが現実となり、作り手、企画、営業、そして販売まですべてを「直」に請け負います。それは面白くもあり、それ以上に責任、プレッシャーであります。

中垣さんはウエディングブーケを手掛ける際、お客様の好みをとことん追求します。それは普段の好みのファッショニスタ風から、よく読む雑誌、ウェブサイトなどをヒアリング。実際にイメージ写真を見られた時の表情や言葉を読み取り、そのお客様の引き出しを開けるような作業。ドレスや式場の飾りつけまでも考慮し、何度もお客様とじっくり話して形にしていきます。

店名「tnc（ティンク）」は、「TICK AND CO M FORT」。

チクタクと時を刻む音と、癒し。

大切な時間を

優しい気持ちで過ごせますようにー。

中垣さんが手掛けるアクセサリーやブーケには、そんな魔法があるのかもしません。

岐阜市長良、岐阜メモリアルセンター南のビルの一角に「ブリザーブドフラワー」や造花で作るオーダーメイドアクセサリーの店「tnc」があります。大手百貨店から声がかかり、たった一人で製作から販売まで全てを切り盛りながら全国の催事場を飛び回ります。全力で走り出した、今注目の「デザイナー 中垣朋子さんにお話を伺いました。

中垣朋子さん。38歳。

長年企業で英語とフラワーアレンジメントに関わり、

近年は輸入企画や海外の買付などの業務に就き、お客様の求めるものや市場のニーズに応える企画など、やり甲斐に溢れた順調な日々を過ごしていました。

そんななか、ある時企画会議に出した案件に対して上

司から「ちゃんとお客様の手から現金を受け取った経験がないから、そんな安易な企画ができるんだ」と、指摘されました。

確かにその通り…。

以来、その言葉がずっと心に引っかかるようになります。